

八福神～8つの町（地区）と共に生きる～

本校の学校教育目標

「自分の可能性を信じ自ら学び自ら鍛える生徒の育成」

佐世保市立宮中学校 学校通信
第4号（令和3年6月25日発行）
発行責任者 熊本 直樹

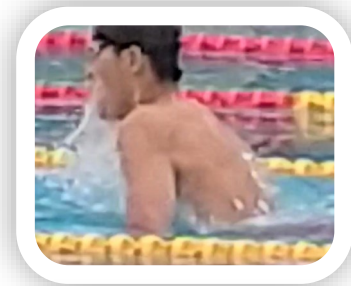


佐世保市中学校体育大会終了～ご協力ありがとうございました～

相変わらずのコロナ禍、加えて怪しい天気、どうなるのかと心配された、否、心配しかなかった佐世保市中学校体育大会でしたが、運営者側からいえば「とりあえず無事に終わってくれた…」というのが正直なところではあります。そんな中、本校の生徒に目を向けると、随所に活躍が目立つ大会だったと感じます。まず、軟式野球部。部員は1名、今大会限定で3名の元部員を助っ人にして、小佐々中と合同で出場という、決して恵まれた環境ではなかったですが、結果は見事「3位」。そしてソフトテニス部。部員2名、ペアの練習はほぼできないという状況の中で初戦を勝利。更にバドミントン部。創部したばかりで全員素人。練習期間わずか2か月。しかし、シングルスで1勝をあげる金星。その他強豪チーム相手に奮闘したバスケットボール部、形・組手共に初戦勝利した空手部、予選リーグを全勝で突破し、決勝トーナメントで惜しくも敗れたもののベスト8に入賞したバレーボール部。皆、大健闘そして大活躍でした。他校ならまだ控えであるはずの1年生も本校では選手。それは良い面でもあり、同時に勝負的には厳しい面でもあります。そのような中でこの本校生徒の活躍は特筆すべきものであると思います。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

中体会最後を飾る“千両役者” 匠巻の泳ぎ

市中学校体育大会（夏季）最後を飾る水泳競技が先週18日（金）に実施され、本校3年生、金丸晟之介さんが100M平泳ぎ、200M平泳ぎの2種目で1位となり、県大会出場となりました。他を寄せ付けない匠巻の泳ぎでした。県大会でも“熱泳！？”を期待しています。



（いのちを見つめる）「家庭教育講座」を実施

本校は今年度6月21日（月）～25日（金）を「いのちを見つめる教育週間」に位置付け、最終日の25日は「家庭教育講座」を実施いたしました。県メディア安全指導員の岩崎けい子先生にSNSについてご講演いただきました。今やメディアとの付き合いなしではいられない世の中。どのように上手に使い、有効性を理解しながら、危険性を排除していけばよいのか。その指針を与えていただいたお話でした。



はちまん爺のツイート日記

※プライバシー保護の観点より、写真等の掲載については遠景のもの等を選択しております。

先日、地区の教育会から校長が寄付金を贈呈された。このご時世だというのに地域というのはありがたいものだなどと改めて感じた「はちまん爺」じゃ。さて、今日「今春の公立小学校教員の採用倍率が過去最低の2.6倍」という記事が目に入った。これだけでも驚きじゃが、更に本県はというと来春の志願倍率（小学校）は1.5倍だという。全国屈指の難関の県といわれた昔がうそのようじゃ。今の世の中が求める教師像を全て網羅しようとするれば、教師は全員「スーパーマン」になるしかない。自分は「超人」にはなれんと思う若者が、この仕事を敬遠しておるのだろう。しかし、事実は事実として受け止めるしかない。人物をしっかりと見極めて採用し、現場で強い使命感と正しい倫理観を持った教師に育てあげればよい。行政と教育現場ががっちりタッグを組むことが重要じゃ。個人が持つセンスや能力だけに頼るような採用や育て方をすれば、大きな失敗を引き起こす。それはそのまま子どもに跳ね返ることを忘れてはならんぞ。